

令和元年度全国鉱山保安週間によせて

九州産業保安監督部長 新井 憲一

各鉱山におかれましては、常日頃から鉱山保安行政に対し、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年も「国民安全の日（7月1日）」に合わせ、全国鉱山保安週間を迎えることとなりました。

この鉱山保安週間は、鉱山における自主保安活動を推進し、保安意識の高揚を図るとともに、広く国民の皆様に鉱山保安に関する認識と理解を深め、もって鉱山における危害及び鉱害の防止に資することを目的として、昭和25年度から毎年度実施しています。

7月1日～7日の期間中、各事業所及び関係団体におかれましては、日常作業の一斉点検などの保安対策の徹底及び理解普及活動など、様々な取り組みが行われることを期待しております。

九州産業保安監督部では、この期間に合わせて保安標語の募集を行ったところ、19鉱山から162作品の応募をいただき、その中から特選1作品、入選4作品、計5点を選考いたしました。この入賞した保安標語は全国鉱山保安週間のポスターとともに各鉱山に配布するとともに、併せてメールマガジンによる広報を行います。また、期間中、当部の幹部職員が鉱山に伺い、保安標語入賞者の表彰、保安講話を行うなどの保安行事に取り組むこととしております。

全国の鉱山災害の発生は中長期的には減少傾向にあるものの、1昨年、昨年と重傷者数が引き続き高水準の状態となっています。今年度は第13次の鉱業労働災害防止計画の2年目ですが、今年に入って5月までに危害関係で17件の災害が発生し、うち死亡災害も1件発生しており、依然多発傾向となっています。

九州管内では、昨年火災2件を含む6件災害が発生し、4名の方が罹災されました。今年はずでに3件の災害が発生しています。

このような状況の中、各鉱山におかれましては、自主保安活動を定着させ、さらに保安水準を向上させるためリスクマネジメントによる予防対策を徹底し、継続的な改善を行っていくことが重要です。

今年度、鉾山保安週間を迎えるにあたり、保安総点検、保安講習、保安パトロール、見学会などの行事を予定されていることと存じますが、上記の趣旨を踏まえ、発生頻度の高い災害に係る防止対策等の推進や地震等自然災害への備えを再確認していただくなど、実りある鉾山保安週間となるよう積極的な取組みをお願いいたします。

また、鉾山で働かれる皆様におかれましては、この鉾山保安週間を機に、改めて自らと職場全体そして家族のため、保安意識の向上に努めていただきますようお願いいたします。

鉾山保安週間を一つの契機として、皆様方全員が、一致団結して災害のない明るい職場づくりに邁進され、有意義な鉾山保安週間を展開されることを祈念しまして、私のメッセージといたします。ご安全に。